

Abstract

AROMA RESEARCH No.56 (vol.14/No.4)

香料の機能性に着眼した化粧品開発の留意点

－安全性について－

堀内 哲嗣郎

〈要旨〉

近年、化粧品に対する消費者のニーズは、エビデンスに裏打ちされた有効性を強く志向している。メーカーは、有効性を訴求するために、化粧品にも応用可能なアロマテラピーが標榜する香料の機能性に着眼して、新規の有効成分の開発を試みた。アロマテラピーは、伝承療法で科学的論拠に欠けていたが、近年有効性の計測技術が長足の進歩を遂げて検証が可能となり、思惑通り有効成分が発見されて化粧品に応用され始めている。有効性と安全性は二律背反的な要素があり、有効性を追求していくと副作用（安全性）の壁に突き当たる。化粧品は安全性が必要不可欠なので、安全性担保の現状と対策を考察してみた。

〈キーワード〉

香料、化粧品、安全性、効果、アロマテラピー